

なつかしいアシの風景や
湿原の貴重な植物との出会い

浮島ヶ原自然公園

Ukishimagahara Nature Park

ミニガイド 2月版

企画・制作：富士自然観察の会

かつては「浮島沼」と呼ばれた湿原で
そこに生きる貴重な動植物に出会えます

四季折々の動植物を観察してみませんか？

浮島ヶ原の湿原には、環境省レッドデータリストや静岡県版レッドデータブックに記載されている貴重な植物が分布しています。

そこで、この湿原の貴重な植物群落と自然風景を保全し、身近な自然を観察できる自然公園として浮島ヶ原自然公園が整備されました。

サワトラノオやヒキノカサ、ノウルシなどの貴重な植物、カワセミやアオサギなどの野鳥たち、ハラビロトンボやアオモンイトトンボなどの昆虫など、様々な動植物との出会いを楽しめる自然公園です。



サワトラノオ

2月は野鳥観察のシーズンです。

公園内から沼川にかけてのエリアで野鳥が観察できます。公園周辺では、30種ほど確認されています。

○主に見られる鳥類



アオサギ



オオジュリン



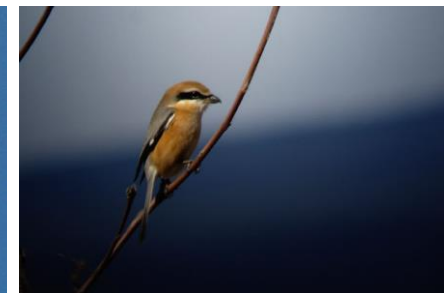
カワセミ



ノスリ



トビ



モズ

○他にも、チョウゲンボウ・ムクドリ・ツグミ・ジョウビタキ・アオジ・カシラダカ・セッカなどが見られます。

3月には早春の花が咲き始めます。



2月後半から、早春の花であるヒキノカサが咲き始め、3月にはノウルシが色づいて公園内が黄色になってきます。もうしばらくお待ちください。



浮島ヶ原自然公園のWeb サイト・ブログ・Facebook ページを開設しています。

<http://ukishimagahara.net/> または



「@ukishimagahara」



Find us on
Facebook

「浮島ヶ原自然公園」

